



ルート グループの設定

ルート グループの設定では、ゲートウェイおよびトランクが選択される順序を指定します。ルート グループにより、発信トランク選択用のゲートウェイとポートのリストに優先順位を付けることができます。

たとえば、2つの長距離通信事業者を使用している場合、通話料の安い通信事業者の長距離コールを優先させるように、ルート グループを追加できます。最初のトランクが使用不能の場合に限り、コールは、通話料の高い通信事業者の方にルート指定されます。

ルート グループの追加または削除、ルート グループへのデバイスの追加、ルート グループからのデバイスの削除については、次のトピックを参照してください。

- [ルート グループの検索 \(P.32-2\)](#)
- [ルート グループの設定 \(P.32-4\)](#)
- [ルート グループの設定値 \(P.32-5\)](#)
- [ルート グループへのデバイスの追加 \(P.32-7\)](#)
- [ルート グループからのデバイスの削除 \(P.32-8\)](#)
- [ルート グループの削除 \(P.32-9\)](#)

ルートグループの検索

ネットワーク内にはいくつかのルートグループが存在することがあるので、Cisco Unified CallManager では、固有の条件を指定して、特定のルートグループを見つけることができます。ルートグループを見つける手順は、次のとおりです。



(注) Cisco Unified CallManager の管理ページでは、ブラウザセッションでの作業中は、ルートグループの検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、ルートグループの検索設定は保持されます。

手順

ステップ 1 [コールルーティング] > [ルート/ハント] > [ルートグループ] の順に選択します。

[ルートグループの検索と一覧表示 (Find and List Route Groups)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 ドロップダウン リストボックスから、次の条件のいずれかを選択します。

- [が次の文字列で始まる]
- [が次の文字列を含む]
- [が次の文字列で終わる]
- [が次の文字列と等しい]
- [が空である]
- [が空ではない]

ステップ 3 必要に応じて適切な検索テキストを指定し、[検索] をクリックします。また、ページごとに表示する項目の数も指定できます。



(注) データベースに登録されているルートグループをすべて検索するには、検索テキストを入力せずに [検索] をクリックします。

検出されたルートグループのリストが、ルートグループ別に表示されます。



ヒント 検索結果内でルートグループを検索するには、[絞り込み] チェックボックスをオンにし、この手順の説明に従って検索条件を入力します。



(注) 該当するルートグループの横にあるチェックボックスをオンにして、[選択項目の削除] をクリックすると、[ルートグループの検索と一覧表示 (Find and List Route Groups)] ウィンドウから複数のルートグループを削除できます。[すべてを選択] をクリックして [選択項目の削除] をクリックすると、ウィンドウ内のすべてのルートグループを削除できます。

ステップ 4 レコードのリストから、検索条件と一致するルートグループをクリックします。

選択したルートグループがウィンドウに表示されます。

追加情報

P.32-10 の「[関連項目](#)」を参照してください。

ルートグループの設定

ルートグループを設定する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 [コールルーティング] > [ルート/ハント] > [ルートグループ] の順に選択します。

ステップ 2 次のいずれかの作業を行います。

- 既存のルートグループをコピーするには、対象となるルートグループを見つけて (P.32-2 の「ルートグループの検索」を参照)、コピーするルートグループの横にある [コピー] ボタンをクリックし、ステップ 3 に進みます。
- 新しいルートグループを追加するには、[新規追加] ボタンをクリックし、ステップ 3 に進みます。
- 既存のルートグループを更新するには、対象となるルートグループを見つけて (P.32-2 の「ルートグループの検索」を参照)、ステップ 3 に進みます。

ステップ 3 表示される [ルートグループの設定 (Route Group Configuration)] ウィンドウで、[ルートグループ名] フィールドに名前を入力します。この名前には、最長 50 文字の英数字を指定することができ、スペース、ピリオド (.)、ハイフン (-)、および下線文字 (_) を任意に組み合わせて使用することが可能です。各ルートグループ名が、そのルートプランに固有の名前であることを確認してください。



ワンポイント・アドバイス

ルートグループには、内容を簡潔に表す名前を使用してください。通常、CompanynameLocationGroup の形式が、内容を簡潔に表し、ルートグループをすばやくかつ簡単に識別できる方式です。たとえば、「CiscoDallasAA1」は、Dallas の Cisco オフィス用の Cisco Access Analog ルートグループを特定します。

ステップ 4 適切な設定値を選択します (表 32-1 を参照)。



(注) 新しいルートグループを追加する前に、新しいルートグループに対して少なくとも 1 つのデバイスを選択しておく必要があります。

ステップ 5 [保存] をクリックして、このルートグループを追加または更新します。

追加情報

P.32-10 の「関連項目」を参照してください。

ルートグループの設定値

表 32-1 では、ルートグループの設定値について説明します。

表 32-1 ルートグループの設定値



フィールド	説明
[ルートグループ情報 (Route Group Information)]	
[ルートグループ名]	このルートグループの名前を入力します。この名前には、最長 50 文字の英数字を指定することができ、スペース、ピリオド (.)、ハイフン (-)、および下線文字 (_) を任意に組み合わせて使用することが可能です。各ルートグループ名が、そのルートプランに固有の名前であることを確認してください。
[分配アルゴリズム (Distribution Algorithm)]	ドロップダウンリストボックスで、次の分散アルゴリズムのオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Top Down] : この分散アルゴリズムを選択すると、ルートグループでアイドルまたは対応可能状態にある最初のメンバーから最後のメンバーまで、Cisco Unified CallManager がメンバーに対してコールを分散します。 • [Circular] : この分散アルゴリズムを選択すると、Cisco Unified CallManager は、アイドルまたは対応可能状態のメンバーに対するコールの分散を、ルートグループの (n+1) 番目のメンバーから開始します。n 番目のメンバーは、Cisco Unified CallManager が最後にコールを延長したメンバーです。n 番目のメンバーが、ルートグループの最後のメンバーの場合、Cisco Unified CallManager はルートグループの先頭からコールの分散を開始します。 デフォルト値は、[Circular] です。
[ルートグループメンバー情報 (Route Group Member Information)]	
[ルートグループに追加するデバイスの検索 (Find Devices to Add to Route Group)]	
[デバイス名に含まれる (Device Name contains)]	<p>検索するデバイス名に含まれる文字を入力し、[検索] ボタンをクリックします。入力した文字と一致するデバイス名が [使用可能なデバイス (Available Devices)] ボックスに表示されます。</p> <p> (注) 使用可能なデバイスをすべて検索するには、テキストボックスをブランクのままにして、[検索] ボタンをクリックします。</p>
[使用可能なデバイス (Available Devices)(デバイスを選択して、下でポートを選択)]	<p>[使用可能なデバイス (Available Devices)] リストボックスでデバイスを選択し、[ルートグループに追加] をクリックして、そのデバイスを [選択されたデバイス (Selected Devices)] リストボックスに追加します。</p> <p>QSIG プロトコルを使用するゲートウェイがルートグループに含まれている場合は、QSIG プロトコルを使用するゲートウェイのみがリストに表示されます。非 QSIG プロトコルを使用するゲートウェイがルートグループに含まれている場合は、QSIG プロトコルを使用し、制御クラスタ間トランクを使用するゲートウェイはリストに表示されません。</p> <p>QSIG ゲートウェイを含むルートリストにルートグループを追加した場合、H.323 ゲートウェイはリストには表示されません。</p>

表 32-1 ルートグループの設定値 (続き)

フィールド	説明
[ポート (Port)]	このデバイスが個々に設定可能なポートをサポートしている場合、そのポートを選択します (個々のポートの選択が可能なデバイスとして、Cisco Access Analog ゲートウェイ、Cisco MGCP Analog ゲートウェイ、T1 CAS があります)。サポートしていない場合は、デフォルト値 (選択したデバイスによって、[All] または [None Available]) を選択します。使用可能なポートがないデバイスの場合 ([None Available])、そのデバイスはすでにルートグループに追加されているか、またはルートグループに追加できない可能性があります。
[現在のルートグループメンバー (Current Route Group Members)]	
[選択されたデバイス (Selected Devices) (優先順位の高い順)]	<p>デバイスの優先順位を変更するには、[選択されたデバイス (Selected Devices)] リストボックス内のデバイス名を選択します。そのリストボックスの右側にある矢印をクリックして、リスト内でそのデバイスを上下に移動させてください。</p> <p>[選択されたデバイス (Selected Devices)] リストボックス内のデバイスの優先順位を逆転するには、[選択されたデバイスの順番を逆にする] をクリックします。</p> <p>ルートグループ内のデバイスの順序の詳細については、『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「ルートプランの概説」を参照してください。</p>
[削除されたデバイス (Removed Devices) ([更新] をクリックしたときにルートグループから削除)]	<p>[選択されたデバイス (Selected Devices)] リストボックスでデバイスを選択し、そのデバイスを [削除されたデバイス (Removed Devices)] リストボックスに追加します。これには、この 2 つのリストボックス間にある下矢印ボタンをクリックします。</p> <p> (注) ルートグループには、少なくとも 1 つのデバイスを入れる必要があります。</p>

追加情報

P.32-10 の「[関連項目](#)」を参照してください。

ルートグループへのデバイスの追加

新規のルートグループまたは既存のルートグループに、デバイスを追加することができます。複数のルートグループにゲートウェイを追加できます。ルートグループにゲートウェイを追加すると、そのゲートウェイは [ルートパターンの設定 (Route Pattern Configuration)] ウィンドウに表示されません。既存のルートグループにデバイスを追加する手順は、次のとおりです。

始める前に

この手順を実行する場合は、事前に少なくとも 1 つのゲートウェイおよびトランクのデバイスを指定しておく必要があります。デバイスが常駐できるのは 1 つのルートグループ内のみです。

手順

-
- ステップ 1** [コールルーティング] > [ルート/ハント] > [ルートグループ] の順に選択します。
 - ステップ 2** デバイスを追加する先のルートグループを特定します。P.32-2 の「ルートグループの検索」を参照してください。
 - ステップ 3** [使用可能なデバイス (Available Devices)] リストボックスで追加するデバイスを選択し、[ルートグループに追加] をクリックして、デバイスを [選択されたデバイス (Selected Devices)] リストボックスへ移動します。このルートグループへ追加する各デバイスに対して、この手順を繰り返します。
 - ステップ 4** [選択されたデバイス (Selected Devices)] リストボックスで、新しいデバイスがこのルートグループ内でアクセスされる順序を選択します。順序を変更するには、デバイスをクリックしてから、リストボックスの右側にある上矢印または下矢印を使用して、デバイスを移動します。
 - ステップ 5** [保存] をクリックして、新しいデバイスを追加し、このルートグループのデバイス順序を更新します。
-

追加情報

P.32-10 の「関連項目」を参照してください。

ルートグループからのデバイスの削除

新規のルートグループまたは既存のルートグループから、デバイスを削除することができます。既存のルートグループからデバイスを削除する手順は、次のとおりです。

手順

-
- ステップ 1** [コールルーティング] > [ルート/ハント] > [ルートグループ] の順に選択します。
- ステップ 2** 削除するデバイスが入っているルートグループを特定します。P.32-2 の「ルートグループの検索」を参照してください。
- ステップ 3** [選択されたデバイス (Selected Devices)] リストボックスで削除するデバイスを選択し、[選択されたデバイス (Selected Devices)] リストボックスの下にある下矢印をクリックして、デバイスを [削除されたデバイス (Removed Devices)] リストボックスへ移動します。このルートグループから削除する各デバイスに対して、このステップを繰り返します。



(注) ルートグループには、少なくとも 1 つのデバイスを入れる必要があります。

- ステップ 4** デバイスを削除するには、[保存] をクリックします。
-

追加情報

P.32-10 の「関連項目」を参照してください。

ルートグループの削除

ルートグループを削除する手順は、次のとおりです。

始める前に

ルート/ハントリストが参照するルートグループは削除できません。ルートグループを使用しているルートリストを検索するには、[ルートグループの設定 (Route Group Configuration)] ウィンドウの [関連リンク] ドロップダウンリストボックスにある [依存関係レコード] を選択し、[移動] をクリックします。依存関係レコードがシステムで使用可能でない場合、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。依存関係レコードの詳細については、P.A-4 の「[依存関係レコードへのアクセス](#)」を参照してください。使用されているルートグループを削除しようとする、Cisco Unified CallManager はエラーメッセージを表示します。現在使用中のルートグループを削除する場合は、事前に、次の作業を実行しておく必要があります。

- ルートグループを削除する前に、そのルートグループが属しているすべてのルートリストから、そのルートグループを削除する。P.33-8 の「[ルートリストからのルートグループの削除](#)」を参照してください。



ヒント

ルートグループとルートパターンを削除するには、まずルートパターンを削除し、次にルートリストを削除して、最後にルートグループを削除します。

手順

- ステップ 1** [コールルーティング] > [ルート/ハント] > [ルートグループ] の順に選択します。
- ステップ 2** 削除するルートグループを特定します。P.32-2 の「[ルートグループの検索](#)」を参照してください。
- ステップ 3** 削除するルートグループの横にあるチェックボックスをオンにして、[選択項目の削除] をクリックします。

ルートグループを削除すると取り消せないことを警告するダイアログボックスが表示されます。
- ステップ 4** ルートグループを削除するには、[OK] をクリックします。削除操作を取り消すには、[キャンセル] をクリックします。[OK] をクリックした場合は、Cisco Unified CallManager は、そのルートグループをルートグループリストから削除します。



(注) 該当するルートグループの横にあるチェックボックスをオンにして、[選択項目の削除] をクリックすると、[ルートグループの検索と一覧表示 (Find and List Route Groups)] ウィンドウから複数のルートグループを削除できます。[すべてを選択] をクリックして [選択項目の削除] をクリックすると、ウィンドウ内のすべてのルートグループを削除できます。

追加情報

P.32-10 の「[関連項目](#)」を参照してください。

関連項目

ルート グループ

- [ルート グループの検索 \(P.32-2\)](#)
- [ルート グループの設定 \(P.32-4\)](#)
- [ルート グループの設定値 \(P.32-5\)](#)
- [ルート グループへのデバイスの追加 \(P.32-7\)](#)
- [ルート グループからのデバイスの削除 \(P.32-8\)](#)
- [ルート グループの削除 \(P.32-9\)](#)
- 『Cisco Unified CallManager システム ガイド』の「ルート プランの概要」

ルート リスト

- [ルート リストの追加 \(P.33-4\)](#)
- [ルート リストへのルート グループの追加 \(P.33-6\)](#)